

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
1	血液内科	血内外来Rituximab	アタラックスP	25mg/回	悪性リンパ腫	H20.9.10
			ソル・コーテフ	100mg/回		
			リツキサン	375mg/m <sup>2</sup>		
2	血液内科	MCP for MM	アルケラン	6mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	H20.9.10
			エンドキサン	500mg/m <sup>2</sup>		
			プレドニン	60mg/m <sup>2</sup>		
3	血液内科	Rituximab+THP-CVP for aged B cell lymphoma	アタラックスP	25mg/回	悪性リンパ腫	H20.9.10
			ソル・コーテフ	100mg/回		
			リツキサン	375mg/m <sup>2</sup>		
			エンドキサン	500mg/m <sup>2</sup>		
			ピノルビン	30mg/m <sup>2</sup>		
			フィルデシン	1.5mg/m <sup>2</sup>		
			プレドニン	40mg/m <sup>2</sup>		
4	血液内科	Rituximab+CHOP for B cell lymphoma	アタラックス P	25mg/回	悪性リンパ腫	H20.9.10
			ソル・コーテフ	100mg/回		
			Rituximab (リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>		
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>		
			Doxorubicin (アドリアシン)	50mg/m <sup>2</sup>		
			Vincristine (オンコピン)	1.4mg/m <sup>2</sup>		
			Prednisolone (プレドニン)	100mg/m <sup>2</sup>		
5	血液内科	血内 外来ベルケイド	Bortezomid(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	H20.9.10
6	血液内科	血内 リンパ腫R-CHVP	Rituximab(リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>	リンパ腫	H22.3.9
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	750 mg/m <sup>2</sup>		
			Vindesine (フィルデシン)	2.0 mg/m <sup>2</sup> *(max3.0)		
			Prednisolone (プレドニン)	100mg/ body		
			Doxorubicin (アドリアシン)	50mg/m <sup>2</sup>		
7	血液内科	血内 リンパ腫R-CVP	Rituximab(リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>	リンパ腫	H22.3.9
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	750 mg/m <sup>2</sup>		
			Vindesine (フィルデシン)	2.0 mg/m <sup>2</sup> *(max3.0)		
			Prednisolone (プレドニン)	60mg/ body		
8	血液内科	血内 VCR単独療法	ビンクリスチン (オンコピン)	1.4mg/m <sup>2</sup> * max 2mg/body	ALL、リンパ腫	H22.3.9
9	血液内科	血内 MCNU	ラニムスチン (サイメリン)	90mg/m <sup>2</sup>	骨髄増殖性腫瘍、リンパ腫、骨髄腫	H22.3.9

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
10	血液内科	血内 髄注化学療法	Methotrexate(メソトレキセート)	15mg/body	中枢神経造血管腫瘍、 ALL,AML,リンパ腫	H22.3.9
			Ara-C (キロサイド)	40mg/body		
			Prednisolone(水溶性プレドニン)	20mg/body		
11	血液内科	血内 APL Arenic Trioxide	Arenic Trioxide(トリセノックス)	0.15mg/kg	急性前骨髄性白血病	H22.3.9
12	血液内科	血内R-ProMACE-CytaBOM	リツキシマブ (リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>	リンパ腫	H30.7.11
			Prednisolone (プレドニン)	60mg/m <sup>2</sup> 経口		
			Doxorubicin(アドリアシン)	25mg/m <sup>2</sup> * div or iv		
			Cyclophosphamide(エンドキサン)	650mg/m <sup>2</sup> div		
			Etoposide (ラステット)	120mg/m <sup>2</sup> div		
			Cytarabine(キロサイド)	300mg/m <sup>2</sup> div		
			Bleomycin(プレオ)	5mg/m <sup>2</sup> div		
			Vincristine(オンコピン)	1.4mg/m <sup>2</sup> iv * max 2.0mg		
13	血液内科	血内 ABVD	Doxorubicin(アドリアシン)	25 mg/m <sup>2</sup>	リンパ腫	H22.3.9
			Bleomycin(プレオ)	10mg/m <sup>2</sup> max15mg * Ccr30-50は50%dose		
			Vinblastine (エクザール)	6mg/m <sup>2</sup> * max10mg		
			Dacarbazine (ダカルバジン)	375 mg/m <sup>2</sup>		
14	血液内科	血内血管肉腫 I L -2	Teceleukin:IL-2 (イムネース)	140万 国内標準単位/day	血管肉腫	H22.3.12
15	血液内科	血内 Arsenic Trioxide	Arsenic Trioxide (トリセノックス)	0.15mg/Kg	急性前骨髄球性白血病	H22.5.28
16	血液内科	血内T-ALL Nelarabine	Nelarabine (アラノンジー)	1,500mg/m <sup>2</sup>	再発・難治 T-ALL/lymphoblastic lymphoma	H22.11.5
17	血液内科	血内Bendamustine	Bendamustine (トリアキシン)	120mg/m <sup>2</sup>	悪性リンパ腫	H23.6.8
18	血液内科	血内R-benda	Rituximab (リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>	悪性リンパ腫	H23.6.17
			Bendamustine (トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>		
19	血液内科	血内アザシチジン	アザシチジン (ビダーザ)	75mg/m <sup>2</sup>	骨髄異形成症候群	H23.6.17
20	血液内科	血内外来R-MACOP-B	Rituximab(リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>	悪性リンパ腫	H24.8.9
			Cyclophosphamide(エンドキサン)	350mg/m <sup>2</sup>		
			Doxorubicin(ドキソルビシン塩酸塩溶解注)	50mg/m <sup>2</sup>		
			ヴァンクリスチン(オンコピン)	1.4mg/m <sup>2</sup> *最大使用量2mg/bodyとする。		
			Methotrexate(メソトレキセート)	400mg/m <sup>2</sup>		
			Bleomycin(プレオ)	10mg/m <sup>2</sup>		
21	血液内科	血内 CyBorD	Prednisolone(プレドニン)	50mg/m <sup>2</sup> *経口で良い。それぞれの開始日から5日間	多発性骨髄腫	H25.7.19
			Cyclophosphamide(エンドキサン)	300mg/m <sup>2</sup>		
			Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
22	血液内科	血内 Gem	Dexamethasone(デカドロン)	40mg	悪性リンパ腫	H24.11.22
			ゲムシタピン (ジエムザール)	1200mg/m <sup>2</sup>		

投与量変更

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
23	血液内科	血内 再発難治リンパ腫GCD (R)	ゲムシタピン (ジェムザール)	1000mg/m <sup>2</sup>	悪性リンパ腫	H25.2.6
			カルボプラチン (カルボプラチン)	AUC 5		
			Dexamethasone(デカドロン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			リツキシマブ(リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>		
24	血液内科	血内 R+GEM	ゲムシタピン (ゲムシタピン)	1250mg/m <sup>2</sup>	悪性リンパ腫	H25.7.3
			リツキシマブ(リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>		
25	血液内科	血内ポテリジオ	モガムリズマブ(ポテリジオ)	1mg/kg	成人T細胞白血病・リンパ腫	H25.10.2
26	血液内科	血内Clofarabine	clofarabine(エポルトラ)	52* mg/m <sup>2</sup> *52mg/m <sup>2</sup> /dayは23歳までの報告しかない(JCO)成人例では40mg/m <sup>2</sup> /dayの報告があるため、高齢で無い。(60歳以下)成人では40mg/m <sup>2</sup> /day×5dayを最大量とする(Blood)日本人高齢者例のMTDは30mg/m <sup>2</sup> とされている。	急性リンパ性白血病 再発・難治例	H25.10.31
27	血液内科	血内T-ALL/Ph-BALL213m	ヴィンクリスチン(オンコピン)	1.3mg/m <sup>2</sup> (1) Max2mg/Body	急性リンパ性白血病 左のT細胞例あるいはPh陰性B細胞例	H25.11.6
			Prednisolone(プレドニン)	60mg/m <sup>2</sup> (2) 経口		
				20mg/m <sup>2</sup> (2)経口		
			Methotrexate(メソトレキセート)	(3)白血球・好中球・血小板維持のための減量規定あり。 参照：プロトコール		
			6-MP(ロイケリン)	20mg/m <sup>2</sup> (2)経口 (3)白血球・好中球・血小板維持のための減量規定あり。 参照：プロトコール		
			※非常に詳細な減量・中止・併用薬計画が建てられている。 上記は最低限の情報である。プロトコールを読むこと！			
28	血液内科	血内VMP-RI	Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	H26.2.3
			Prednisolone(プレドニン) 経口	60mg/m <sup>2</sup>		
			Melphalan(アルケラン) 経口	9mg/m <sup>2</sup>		
29	血液内科	血内VMP-consoli	Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	H26.2.3
			Melphalan(アルケラン) 経口	9mg/m <sup>2</sup>		
			Prednisolone(プレドニン) 経口	60mg/m <sup>2</sup>		
30	血液内科	血内アドセトリス	プレンツキシマブ ベドチン(アドセトリス)	1.8mg/kg	CD30陽性の再発難治の次の2疾患 ホジキンリンパ腫 Anaplastic Large Cell Lymphoma	H26.5.14
31	血液内科	血内GO単独	ゲムツズマブオゾガマイシン (マイロターグ)	9mg/m <sup>2</sup>	急性骨髄性白血病 (CD33陽性・再発難治のもの)	H26.11.14

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
32	血液内科	血内ポテリジオ	モガムリズマブ (ポテリジオ)	1mg/kg	CCR4陽性のATL CCR4陽性再発難治PTCL (末梢性T細胞リンパ腫) CCR4陽性再発難治CTCL (皮膚T細胞リンパ腫)	H27.1.22
33	血液内科	血内T-ALL213 O C3	ピンクリスチン (オンコピン)	1.3mg/m <sup>2</sup> (最大投与量2.0mg/body)	急性Tリンパ球性白血病	H27.12.4
			ドキシルピシン (ドキシルピシン)	30mg/m <sup>2</sup> (60歳以上の場合 20mg/m <sup>2</sup> )		
			ネララビン (アラノンジ)	1500mg/m <sup>2</sup>		
			サイクロホスファミド (エンドキサン)	1200mg/m <sup>2</sup> (60歳以上の場合 800mg/m <sup>2</sup> ) CCr <70の時、規定量x CCr/70		
			シタラビン (キロサイド)	75mg/m <sup>2</sup>		
			it triple (キロサイド/MTX/Dexa)	40/15/3.3mg		
			デキサメタゾン (デカドロン【経口】)	10mg/m <sup>2</sup>		
			6-メルカプトプリン (ロイケリン【経口】)	60mg/m <sup>2</sup> (30mg/m <sup>2</sup> ) アロプリノールを使用する際は 30mg/m <sup>2</sup> と1/2量にする。		
			この他にも規定が詳細にあるので、プロトコール書を確認！！			
34	血液内科	血内カルフィルゾミブ 1コース目	カルフィルゾミブ (カイプロリス)	20mg/m <sup>2</sup>	再発難治性の多発性骨髄腫	H28.9.27
			カルフィルゾミブ (カイプロリス)	27mg/m <sup>2</sup>		
			レナリドミド (レブラミド)	25mg		
			デキサメタゾン (レナデックス)	40mg		
名称変更 35	血液内科	血内KRd #2-12 (旧名称) 血内カルフィルゾミブ 2コース目以降	カルフィルゾミブ (カイプロリス)	27 mg/m <sup>2</sup>	再発難治性の多発性骨髄腫	R4.2.28
			レナリドミド (レブラミド)	25 mg		
			デキサメタゾン (レナデックス)	40 mg		
			・レナデックスについては20mg/day, d1-2, 8-9, 15-16, 21-22での投与を許容する。 ・体表面積が 2.2m <sup>2</sup> を超える患者では、体表面積 2.2m <sup>2</sup> として投与量を算出すること。 カイプロリス : 56mg/m <sup>2</sup> →123mg/body			
名称変更 36	血液内科	血内ERD (1,2サイクル目)	Elotuzumab (エムプリシティ)	10mg/kg	再発・難治多発性骨髄腫	H28.11.25
			レナリドミド (レブラミド)	25mg		
			デキサメタゾン (レナデックス)	28mg		
名称変更 37	血液内科	血内ERD3サイクル目以降	Elotuzumab (エムプリシティ)	10mg/kg	再発・難治多発性骨髄腫	H28.11.25
			レナリドミド (レブラミド)	25mg		
			デキサメタゾン (レナデックス)	28mg		
			デキサメタゾン (レナデックス)	40mg		
38	血液内科	血内Kd療法1コース目	カルフィルゾミブ (カイプロリス)	20mg/m <sup>2</sup> *	再発難治性の多発性骨髄腫	H29.6.20
			カルフィルゾミブ (カイプロリス)	56mg/m <sup>2</sup> *		
			デキサメタゾン (レナデックス)	20mg		
39	血液内科	血内Kd療法2コース目	カルフィルゾミブ (カイプロリス)	56mg/m <sup>2</sup> *	再発難治性の多発性骨髄腫	H29.6.20
			デキサメタゾン (レナデックス)	20mg		
40	血液内科	血内PTCLpralatrexate	Pralatrexate (ジフォルタ)	30mg/m <sup>2</sup>	再発難治PTCL	H29.9.13

(血液内科) 外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
内容変更	血液内科	血内DBd療法1コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
内容変更	血液内科	血内DBd療法2-3コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
内容変更	血液内科	血内DBd療法4-8コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
内容変更	血液内科	血内DBd療法9コース目以降	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Dexamethasone (デキサート)	20mg		
内容変更	血液内科	血内DLd療法1コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
内容変更	血液内科	血内DLd療法2コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
内容変更	血液内科	血内DLd療法3-6コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
内容変更	血液内科	血内DLd療法7コース目以降	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
49	血液内科	血内アレムツズマブ	アレムツズマブ (マブキャンパス)	3,10,30mg 3mg/日連日、その後10mg/日連日、その後30mg/日連日 連日とは最低2日を言う	再発・難治 慢性リンパ性白血病	H29.12.20
50	血液内科	血内ロミデプシン	ロミデプシン (イストダックス)	14mg/m <sup>2</sup>	再発/難治末梢性T細胞リンパ腫 (皮膚型を含む)	H30.8.10
51	血液内科	血内ガザイバCVP #1	オビヌツズマブ (ガザイバ)	1000mg	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	H30.10.3
			プレドニゾン (プレドニン)	100mg		
			シクロホスファミド (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>		
			ピンクリスチン (オンコピン)	5 / 23 ページ 4mg/m <sup>2</sup> (max 2.0mg/body)		

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
52	血液内科	血内ガザイバCVP #2～	オビヌツズマブ (ガザイバ)	1000mg	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	H30.10.3
			プレドニゾン (プレドニン)	100mg		
			シクロホスファミド (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>		
			ビンクリスチン (オンコピン)	1.4mg/m <sup>2</sup> (max 2.0mg/body)		
53	血液内科	血内クラドリピン5日法	クラドリピン (ロイスタチン)	0.12mg/kg	再発・再燃・治療抵抗性B細胞性リンパ腫、マントル細胞リンパ腫	H30.12.10
54	血液内科	血内CHOEP	シクロホスファミド (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>	T細胞リンパ腫	H30.12.25
			ドキシソルピシン (ドキシソルピシン)	50mg/m <sup>2</sup>		
			ビンクリスチン (オンコピン)	2mg		
			エトポシド (エトポシド)	100mg/m <sup>2</sup>		
			プレドニゾン (プレドニン)	100mg		
55	血液内科	血内ガザイバBenda#1～	Obinutuzumab (ガザイバ)	1000mg	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	H31.1.23
			Bendamustine (トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>		
56	血液内科	血内ガザイバBenda#2～	Obinutuzumab (ガザイバ)	1000mg	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	H31.1.23
			Bendamustine (トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>		
57	血液内科	血内オビヌツズマブ維持療法	Obinutuzumab (ガザイバ)	1000mg	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	H31.2.6
58	血液内科	血内オビヌツズマブCHOP#1	Obinutuzumab (ガザイバ)	1000mg	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	H31.2.6
			prednisolone (プレドニン)	100mg		
			cyclophosphamide (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>		
			doxorubicin (ドキシソルピシン)	50mg/m <sup>2</sup>		
			vincristine (オンコピン)	1.4mg/m <sup>2</sup>		
59	血液内科	血内オビヌツズマブCHOP#2-#6	Obinutuzumab (ガザイバ)	1000mg	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	H31.2.6
			prednisolone (プレドニン)	100mg		
			cyclophosphamide (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>		
			doxorubicin (ドキシソルピシン)	50mg/m <sup>2</sup>		
			vincristine (オンコピン)	1.4mg/m <sup>2</sup>		
60	血液内科	血内オビヌツズマブCHOP#7-#8	Obinutuzumab (ガザイバ)	1000mg	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	H31.2.6
61	血液内科	血内ブレンツキシマブAVD	Brentuximab Vedotin (アドセトリス)	1.2mg/kg	CD30陽性のホジキンリンパ腫	H31.2.21
			Doxorubicin (アドリアシン)	25mg/m <sup>2</sup>		
			Vinblastine (イクザール)	6mg/m <sup>2</sup>		
			Dacarbazine (ダカルバジン)	375mg/m <sup>2</sup>		
62	血液内科	血内イノツズマブオゾガマイシン#1	イノツズマブオゾガマイシン (ベスボンサ)	0.8mg/m <sup>2</sup>	急性リンパ性白血病	H31.3.6
			イノツズマブオゾガマイシン (ベスボンサ)	0.5mg/m <sup>2</sup>		
63	血液内科	血内イノツズマブオゾガマイシン#2寛解	イノツズマブオゾガマイシン (ベスボンサ)	0.8mg/m <sup>2</sup>	急性リンパ性白血病	H31.3.6
64	血液内科	血内イノツズマブオゾガマイシン#2非寛解	イノツズマブオゾガマイシン (ベスボンサ)	0.8mg/m <sup>2</sup>	急性リンパ性白血病	H31.3.6
			イノツズマブオゾガマイシン (ベスボンサ)	0.5mg/m <sup>2</sup>		

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
65	血液内科	血内CLL R-Benda#1	Rituximab (リツキシマブ)	375mg/m <sup>2</sup>	CD20陽性の慢性リンパ性白血病	H31.4.10
			Bendamustine (トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>		
66	血液内科	血内CLL R-Benda#2~6	Rituximab (リツキシマブ)	500mg/m <sup>2</sup>	CD20陽性の慢性リンパ性白血病	H31.4.10
			Bendamustine (トリアキシン)	500mg/m <sup>2</sup>		
67	血液内科	血内CLL R-FC#1	Rituximab (リツキシマブ)	375mg/m <sup>2</sup>	CD20陽性の慢性リンパ性白血病	H31.4.10
			Fludarabine (フルダラ)	25mg/m <sup>2</sup>		
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	250mg/m <sup>2</sup>		
68	血液内科	血内CLL R-FC#2~6	Rituximab (リツキシマブ)	500mg/m <sup>2</sup>	CD20陽性の慢性リンパ性白血病	H31.4.10
			Fludarabine (フルダラ)	25mg/m <sup>2</sup>		
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	250mg/m <sup>2</sup>		
69	血液内科	血内PomVd#1-8	Pomalidomide (ポマリスト)	4mg	再発難治性多発性骨髄腫	R01.7.03
			Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (レナデックス)	20mg		
70	血液内科	血内PomVd#9~	Pomalidomide (ポマリスト)	4mg	再発難治性多発性骨髄腫	R01.7.03
			Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (レナデックス)	20mg		
71	血液内科	血内リツキシマブ (TTP/溶血性貧血)	Rituximab (リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>	血栓性血小板減少性紫斑病 溶血性貧血 (温式・冷式)	R01.9.4
内容変更	血液内科	血内DMPB # 1	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	多発性骨髄腫	r3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			(3) Melphalan(アルケラン)	9mg/m <sup>2</sup>		
内容変更	血液内科	血内DMPB # 2~ # 9	(4) Prednisolone(プレドニン)	60mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg		
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Bortezomib(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
内容変更	血液内科	血内DMPB # 10~	(3) Melphalan(アルケラン)	9mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	R3.10.6
			(4) Prednisolone(プレドニン)	60mg/m <sup>2</sup>		
			(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg		
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		

## (血液内科) 外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
75	血液内科	血内mLSG15モガ#1 前半	vincristine(オンコビン)	1mg/m <sup>2</sup>	CCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫	R01.11.06
			doxorubicin (ドキシソルビシン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			cyclophosphamide (エンドキサン)	350mg/m <sup>2</sup>		
			prednisolone (プレドニン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			doxorubicin (ドキシソルビシン)	30mg/m <sup>2</sup>		
			ranimustine (サイメリン)	60mg/m <sup>2</sup>		
			prednisolone (プレドニン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			Mogamulizumab (ポテリジオ)	1mg/kg		
76	血液内科	血内mLSG15モガ#2~#4 前半	vincristine(オンコビン)	1mg/m <sup>2</sup>	CCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫	R01.11.06
			doxorubicin (ドキシソルビシン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			cyclophosphamide (エンドキサン)	350mg/m <sup>2</sup>		
			prednisolone (プレドニン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			doxorubicin (ドキシソルビシン)	30mg/m <sup>2</sup>		
			ranimustine (サイメリン)	60mg/m <sup>2</sup>		
			prednisolone (プレドニン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			Mogamulizumab (ポテリジオ)	1mg/kg		
77	血液内科	血内mLSG15モガ#1~#4 後半	Vindesine (フィルデシン)	2.4mg/m <sup>2</sup>	CCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫	R01.11.06
			etoposide (エトポシド)	100mg/m <sup>2</sup>		
			carboplatin (カルボプラチン)	250mg/m <sup>2</sup>		
			prednisolone (プレドニン)	40mg/m <sup>2</sup>		
78	血液内科	血内DRC	Rituximab (リツキシマブBS)	375mg/m <sup>2</sup>	リンパ腫	R02.01.08
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	200mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethazone(デカドロン)	20mg		
79	血液内科	血内EloPd #1-2	Elotuzumab (エムプリシティ)	10mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R02.01.08
			Pomalidomide (ポマリスト)	4mg		
			Dexamethasone(レナデックス)	28mg		
80	血液内科	血内EloPd #3~	Elotuzumab (エムプリシティ)	20mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R02.01.08
			Pomalidomide (ポマリスト)	4mg		
			Dexamethasone(レナデックス)	28mg		
			Dexamethasone(レナデックス)	40mg		
81	血液内科	血内ブレンツキシマブCHP	Brentuximab Vedotin (アドセトリス)	1.8mg/kg	未治療のCD30陽性の 未梢性T細胞リンパ腫	R02.02.05
			cyclophosphamide (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>		
			doxorubicin (ドキシソルビシン)	50mg/m <sup>2</sup>		
			prednisolone (プレドニン)	100mg		

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
82	血液内科	血内Kd療法1コース目 (weekly)	カルフィルゾミブ (カイプロリス)	20mg/m <sup>2</sup> 体表面積が2.2m <sup>2</sup> を超える患者では、体表面積を2.2m <sup>2</sup> として投与量を算出すること。44mg/body(最大投与量)	再発難治性多発性骨髄腫	R02.02.05
			カルフィルゾミブ (カイプロリス)	70mg/m <sup>2</sup> 体表面積が2.2m <sup>2</sup> を超える患者では、体表面積を2.2m <sup>2</sup> として投与量を算出すること。154mg/body(最大投与量)		
			デキサメタゾン (レナデックス)	40mg		
83	血液内科	血内Kd療法2コース目 (weekly) ~	カルフィルゾミブ (カイプロリス)	70mg/m <sup>2</sup> 体表面積が2.2m <sup>2</sup> を超える患者では、体表面積を2.2m <sup>2</sup> として投与量を算出すること。154mg/body(最大投与量)	再発難治性多発性骨髄腫	R2.2.5
			デキサメタゾン (レナデックス)	40mg		
84	血液内科	血内APL219地固め(C1,C2)	タミパロテン【Am80】 (アムノレイク)	6mg/m <sup>2</sup>	再発急性前骨髄球性白血病	R2.4.1
			三酸化二ヒ素【ATO】(トリセノックス)	0.15mg/kg		
85	血液内科	血内APL219地固め(C3)	ゲムツズマブオゾガマイシン【GO】 (マイロターグ)	3mg/m <sup>2</sup>	再発急性前骨髄球性白血病	R2.4.1
86	血液内科	血内JALSG-PhALL219維持	Vincristine(オンコピン)	1.3(最大2mg)mg/m <sup>2</sup>	Ph染色体陽性急性リンパ性白血病	R2.5.13
			Prednisolone(プレドニン) *	60mg/m <sup>2</sup>		
			Dasatinib(スプリセル) **	100mg		
			Ponatinib(アイクルシグ) **	30mg		
			(*) PSLは内服投与でd8-9: 30mg/m <sup>2</sup> , d10-11: 15mg/m <sup>2</sup> , d12-14: 5mg/m <sup>2</sup> と漸減する (**) DasatinibとPonatinibはプロトコルに従ってどちらかを投与する			
87	血液内科	血内レナリドミドリツキシマブ#1	Rituximab(リツキシマブBS注)	375mg/m <sup>2</sup>	再発・難治濾胞性リンパ腫 再発・難治辺縁帯リンパ腫	R2.5.13
			Lenalidomide (レブラミド)	20mg		
88	血液内科	血内レナリドミドリツキシマブ#2~5	Rituximab(リツキシマブBS注)	375mg/m <sup>2</sup>	再発・難治濾胞性リンパ腫 再発・難治辺縁帯リンパ腫	R2.5.13
			Lenalidomide (レブラミド)	20mg		
89	血液内科	血内Flu+Bu+Mel移植前処置	fludarabine(フルダラ)	30mg/m <sup>2</sup>	造血幹細胞移植	R2.5.13
			busulfan(ブスルフェクス)	3.2mg/kg		
			melfhalan(アルケラン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			* BMI≥25 では、BusulfanとMelfhalanの投与量を標準体重から換算することを考慮する。			
90	血液内科	血内キムリア前処置AraCVP16ALL	Cytarabine (AraC) (シタラビン)	500mg/m <sup>2</sup>	25歳以下の再発難治CD19陽性ALL (キムリア 使用予定)	R2.5.13
			Etoposide (VP-16) (イトピシド)	150mg/m <sup>2</sup>		
			* キムリア 投与予定日 1週間以内の白血球数が1000/ulを超えている事を確認。シクロフォスファミドによるGradeIVの出血性膀胱炎の既往がある場合またはシクロフォスファミド抵抗性の場合に使用。			
91	血液内科	血内キムリア前処置CPA+Flu_ALL	Cyclophosphamide(エンドキサン)	500mg/m <sup>2</sup>	25歳以下の再発難治CD19陽性ALL (キムリア 使用予定)	R2.5.13
			Fludarabine(フルダラビン)	30mg/m <sup>2</sup>		
			* キムリア 投与予定日 1週間以内の白血球数が1000/ulを超えている事を確認。			

## (血液内科) 外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
適応拡大	血液内科	血内キムリア前処置BendaML	Bendamustin(トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>	再発難治CD19陽性DLBCL (キムリア 使用予定)	R6.5.8
			*キムリア 投与予定日 1週間以内の白血球数が1000/uを超えている事を確認。シクロフォスファミドによるGradeIVの出血性膀胱炎の既往がある場合またはシクロフォスファミド抵抗性の場合に適応。			
適応拡大	血液内科	血内キムリア前処置CPA+Flu_ML	Cyclophosphamide(エンドキサン)	250mg/m <sup>2</sup>	再発難治CD19陽性DLBCL (キムリア 使用予定)	R6.5.8
			Fludarabine(フルダラビン)	25mg/m <sup>2</sup>		
94	血液内科	血内ベネトクラクス・R	ベネトクラクス (ベネクレクスタ)	20~400(*) mg	慢性リンパ性白血病 小リンパ球性リンパ腫	R2.6.18
			リツキシマブ(リツキサン)	375mg/m <sup>2</sup>		
			リツキシマブ (リツキサン)	500mg/m <sup>2</sup>		
			(*) ベネトクラクスは、20, 50, 100, 200, 400 mg/dayと1週間毎に増量する。400 mg/dayの8日目以降、リツキシマブを28日周期で使用する。リツキシマブは、臨床試験では最大6回までになっている。ベネトクラクスは、PD, 不耐容まで。CYP3A阻害剤 (イトラコナゾール、クラリスロマイシン等) との併用に注意し、用量調節は添付文書を参照する (用量漸増期、維持投与期ごとに禁忌または減量基準あり)。			
95	血液内科	血内JALSG-PhALL219髄注	Methotrexate (メソトレキセート)	15mg	Ph染色体陽性急性リンパ性白血病	R2.7.13
			Cytarabine (キロサイド)	40mg		
			Dexamethasone (デキサート)	3.3mg		
			臨床試験(JALSG PhALL219) 登録症例に対して使用 原著中枢神経系白血病の治療項目に従い週2回投与を行う場合がある (その場合は、週の2回目の髄注後24時間目にLV15mg投与)			
96	血液内科	血内IsaPomd#1	Isatuximab (サークリサ)	10mg/kg	多発性骨髄腫	R2.10.7
			Pomalidomide (ポマリスト)	4mg		
			Dexamethasone (デキサート)	39.6mg(*19.8)		
			サークリサ滴下速度は【mg / h】表示であることに注意。「サークリサ点滴速度換算表」を参照。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Pomalidomide + dexamethasone投与時はaspirin の併用が推奨されている。 * 7 5歳以上は括弧内の用量へ変更			
97	血液内科	血内IsaPomd#2~	Isatuximab (サークリサ)	10mg/kg	多発性骨髄腫	R2.10.7
			Pomalidomide (ポマリスト)	4mg		
			Dexamethasone (デキサート)	39.6mg(*19.8)		
			Dexamethasone (レナデックス)	40mg(*20)		
			サークリサ滴下速度は【mg / h】表示であることに注意。「サークリサ点滴速度換算表」を参照。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Pomalidomide + dexamethasone投与時はaspirin の併用が推奨されている。 * 7 5歳以上は括弧内の用量へ変更			

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
98	血液内科	血内Special C療法	ビンブラスチン (エクザール)	6(max 6mg) mg/m <sup>2</sup>	Langerhans細胞組織球症	R2.12.2
			プレドニゾン (プレドニン)	2(max 60mg) mg/kg		
			メソトレキサート (メソトレキセート)	20mg/m <sup>2</sup>		
			6-メルカトプリン (ロイケリン)	1.5mg/kg		
99	血液内科	血内APL220地固め	トレチノイン【ATRA】 (ベサノイド)	45mg/m <sup>2</sup>	初発急性前骨髄球性白血病	R3.2.3
			三酸化二ヒ素【ATO】 (トリセノックス)	0.15mg/kg		
100	血液内科	血内Ven+LDAC	シタラピン (キロサイド)	20mg/m <sup>2</sup>	急性骨髄性白血病	R3.4.6
			ベネトクラクス (ベネクレクスタ)	100-600mg		
			*1日目に100mg、2日目に200mg、3日目に400mgをそれぞれ1日1回、食後に経口投与する。その後の維持投与期は、600mgを1日1回、食後に経口投与する。			
101	血液内科	血内Ven+Aza	アザシチジン (ビダーザ)	75mg/m <sup>2</sup>	急性骨髄性白血病	R3.4.6
			ベネトクラクス (ベネクレクスタ)	100-400mg		
			*1日目に100mg、2日目に200mgをそれぞれ1日1回、食後に経口投与する。その後の維持投与期は、400mgを1日1回、食後に経口投与する。			
102	血液内科	血内GRAALL2003維持療法	ビンクリスチン (オンコピン)	2mg	フィラデルフィア陰性急性リンパ性白血病	R3.4.14
			Prednisolone (プレドニン)	40 (経口) mg/m <sup>2</sup>		
			Methotrexate (メソトレキセート)	25 (経口) mg/m <sup>2</sup>		
			6-MP (ロイケリン)	60 (経口) mg/m <sup>2</sup>		
内容変更 103	血液内科	血内DCd # 1	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	8mg/kg	多発性骨髄腫	R3.10.6
			(2) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg		
			(2) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(3) Carfilzomib (カイプロリス)	20mg/m <sup>2</sup>		
			(4) Carfilzomib (カイプロリス)	56mg/m <sup>2</sup>		
			(5) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
			(6) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	40mg		
			(7) Methylprednisolone (メチルプレドニゾン)	20mg		
※カイフィルゾミブ：体表面積が2.2m <sup>2</sup> を超える患者では、体表面積を2.2m <sup>2</sup> として投与量を算出すること デキサメタゾン：75歳以上ではday1, 2, 8, 15, 22は20mg、day9, day16は8mgへ減量						
内容変更 104	血液内科	血内DCd # 2	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Carfilzomib (カイプロリス)	56mg/m <sup>2</sup>		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
			(4) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	40mg		
			※カイフィルゾミブ：体表面積が2.2m <sup>2</sup> を超える患者では、体表面積を2.2m <sup>2</sup> として投与量を算出すること デキサメタゾン：75歳以上ではday1, 8, 15, 22に20mgへ減量。			

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
内容変更 105	血液内科	血内DCd # 3-6	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Carfilzomib (カイプロリス)	56mg/m <sup>2</sup>		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
			(4) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	40mg		
※カイフィルゾミブ：体表面積が2.2m <sup>2</sup> を超える患者では、体表面積を2.2m <sup>2</sup> として投与量を算出すること デキサメタゾン：75歳以上ではday1, 15, 22に20mg、day8に12mg、day 9に8mgへ減量						
内容変更 106	血液内科	血内DCd # 7-	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16mg/kg	多発性骨髄腫	R3.10.6
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15mL		
			(2) Carfilzomib (カイプロリス)	56mg/m <sup>2</sup>		
			(3) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
			(4) Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	40mg		
※カイフィルゾミブ：体表面積が2.2m <sup>2</sup> を超える患者では、体表面積を2.2m <sup>2</sup> として投与量を算出すること デキサメタゾン：75歳以上ではday1, 22に20mg、day8, 15に12mg、day 9, 16に8mgへ減量						
107	血液内科	血内pola-BR # 1	ボラツズマブベドチン (ボライビー)	1.8mg/kg	再発難治びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫	R3.5.12
			リツキシマブ (リツキシマブBS)	375mg/m <sup>2</sup>		
			ベンダムスチン (トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>		
108	血液内科	血内pola-BR # 2-# 6	ボラツズマブベドチン (ボライビー)	1.8mg/kg	再発難治びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫	R3.5.12
			リツキシマブ (リツキシマブBS)	375mg/m <sup>2</sup>		
			ベンダムスチン (トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>		
109	血液内科	血内ペンブロリズマブ200	ペンブロリズマブ(キイトルーダ)	200mg	再発難治性古典的ホジキンリンパ腫	R3.6.21
110	血液内科	血内R-Bortezomib	Rituximab (リツキシマブBS注)	375mg/m <sup>2</sup>	再発・難治マンテル細胞リンパ腫	R3.7.7
			Bortezomib (ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (デキサート)	40mg		
111	血液内科	血内Remitoro	デニロイキン ジフチトクス (レミトロ)	9μg/kg	再発難治未梢性T細胞リンパ腫 再発難治皮膚T細胞性リンパ腫	R3.7.7
112	血液内科	血内高リスクAPL 地固め# 1	三酸化二ヒ素【ATO】(トリセノックス)	0.15mg/kg	急性前骨髄性白血病	R3.7.7
			トレチノイン【ATRA】(ベサノイド)	45mg/m <sup>2</sup>		
113	血液内科	血内高リスクAPL 地固め# 2	三酸化二ヒ素【ATO】(トリセノックス)	0.15mg/kg	急性前骨髄性白血病	R3.7.7
			トレチノイン【ATRA】(ベサノイド)	45mg/m <sup>2</sup>		
114	血液内科	血内VRD療法	Bortezomib (ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	R3.10.6
			Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		

## (血液内科) 外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
115	血液内科	血内VRD-lite療法 #1-#9	Bortezomib (ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	R3.10.6
			Lenalidomide (レブラミド)	15mg		
			Dexamethasone (レナデックス・デキサート)	20mg		
			・主に自己末梢血幹細胞移植の適応とならない患者が対象となる。 ・10コース目以降は、別レジメンを参照。 ・76歳以上の場合は、Dexはday1,8,15,22のみ投与とする。			
116	血液内科	血内VRD-lite療法 #10-#15	Bortezomib (ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>	多発性骨髄腫	R3.10.6
			Lenalidomide (レブラミド)	15mg		
			・主に自己末梢血幹細胞移植の適応とならない患者が対象となる。			
117	血液内科	血内IsaKd 1コース目	Isatuximab (サークリサ)	10 mg/kg	再発難治多発性骨髄腫	R4.04.14
			Carfilzomib (カイクロリス) (※1)	20 mg/m <sup>2</sup>		
			Carfilzomib (カイクロリス)	56 mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (デキサート)	20 mg		
			*1 直前の化学療法がカイクロリスを含むレジメンの場合には初回より56mg/m <sup>2</sup> の投与を許容する。レジメンオーダは以下の通り。 ・カイクロリス投与歴あり⇒【K既投与】IsaKd 1コース目 ・カイクロリス投与歴なし⇒【K未投与】IsaKd 1コース目 初回投与での減量は通常用量での開始がPhaseIにおいてTLSを起こしたことから設定されたものであり、直前までカイクロリスを投与されていた患者においては通常投与においてもカイクロリスによるTLSを起こさないと考えられるためである。  サークリサ滴下速度は【mg / h】表示であることに注意。「サークリサ点滴速度換算表」を参照。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。			
118	血液内科	血内IsaKd 2コース目	Isatuximab (サークリサ)	10 mg/kg	再発難治多発性骨髄腫	R4.2.2
			Carfilzomib (カイクロリス)	56 mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (デキサート)	20 mg		
			サークリサ滴下速度は【mg / h】表示であることに注意。「サークリサ点滴速度換算表」を参照。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。			
119	血液内科	血内Isad # 1	Isatuximab (サークリサ)	20 mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R4.2.2
			Dexamethasone (デキサート)	40 (※20) mg		
			サークリサ滴下速度は【mg / h】表示であることに注意。「サークリサ点滴速度換算表」を参照。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 * 75歳以上は括弧内の用量へ変更			
120	血液内科	血内Isad # 2～	Isatuximab (サークリサ)	20 mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R4.2.2
			Dexamethasone (レナデックス/デキサート)	40 (※20) mg		
			サークリサ滴下速度は【mg / h】表示であることに注意。「サークリサ点滴速度換算表」を参照。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 * 75歳以上は括弧内の用量へ変更			

特記事項  
追加  
(修正)

(1コース目に合わせてレジメン名修正)

## (血液内科) 外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
121	血液内科	血内DPd療法1コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16 mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R4.2.2
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15 mL		
			(2) Pomalidomide (ポマリドミド)	4 mg		
			(3) Dexamethasone (レナデックス/デキサート)	40 (※20) mg		
			初回投与時に輸血部医師に連絡 ダラザレックスはインラインフィルターを使用。 Pomalidomide + dexamethasone投与時はaspirin の併用が推奨されている。 * 7 5 歳以上は括弧内の用量へ変更			
122	血液内科	血内DPd療法2コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16 mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R4.2.2
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15 mL		
			(2) Pomalidomide (ポマリドミド)	4 mg		
			(3) Dexamethasone (レナデックス/デキサート)	40 (※20) mg		
			ダラザレックスはインラインフィルターを使用。 Pomalidomide + dexamethasone投与時はaspirin の併用が推奨されている。 * 7 5 歳以上は括弧内の用量へ変更			
123	血液内科	血内DPd療法3-6コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16 mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R4.2.2
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15 mL		
			(2) Pomalidomide (ポマリドミド)	4 mg		
			(3) Dexamethasone (レナデックス/デキサート)	40 (※20) mg		
			ダラザレックスはインラインフィルターを使用。第2週、4週のdexamethasoneは主治医判断で投与するか検討 Pomalidomide + dexamethasone投与時はaspirin の併用が推奨されている。 * 7 5 歳以上は括弧内の用量へ変更			
124	血液内科	血内DPd療法7コース目	(1) Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16 mg/kg	再発難治性多発性骨髄腫	R4.2.2
			(1) Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15 mL		
			(2) Pomalidomide (ポマリドミド)	4 mg		
			(3) Dexamethasone (レナデックス/デキサート)	40 (※20) mg		
			ダラザレックスはインラインフィルターを使用。第2週～4週のdexamethasoneは主治医判断で投与するか検討 Pomalidomide + dexamethasone投与時はaspirin の併用が推奨されている。 * 7 5 歳以上は括弧内の用量へ変更			
125	血液内科	血内DCyBorD療法1-2コース目	Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15 mL	ALアミロイドーシス	R4.2.2
			Bortezomib (ベルケイド)	1.3 mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (レナデックス/デキサート)	40 (※20) mg		
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	300 mg/m <sup>2</sup>		
			*デキサメタゾン70歳以上であったり、糖尿病や心不全などの合併症がある場合、BMI < 18.5である場合は20mgに減量しても良い。 ・エンドキサンは原則経口とする。 ・初回投与前に、不規則抗体スクリーニング検査を含めた一般的な輸血前検査を実施 ・初回投与前に、本剤を介した間接抗グロブリン (間接クームス) 試験への干渉について輸血部医師に連絡			

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
126	血液内科	血内DCyBorD療法3-6コース目	Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15 mL	ALアミロイドーシス	R4.2.2
			Bortezomib (ベルケイド)	1.3 mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (レナデックス/デキサート)	40 (※20) mg		
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	300 mg/m <sup>2</sup>		
			*デキサメタゾン70歳以上であったり、糖尿病や心不全などの合併症がある場合、BMI < 18.5である場合は20mgに減量しても良い ・エンドキサンは原則経口とする。			
127	血液内科	血内DCyBorD療法7コース目以降	Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15 mL	ALアミロイドーシス	R4.2.2
			・DCyBorDを開始して2年以内まで継続可			
128	血液内科	血内LSG15ATL(day1,8)	ビンクリスチン (オンコピン)	1 mg/m <sup>2</sup>	成人T細胞性白血病/リンパ腫	R4.3.2
			シクロホスファミド (エンドキサン)	350 mg/m <sup>2</sup>		
			ドキシルピシン (ドキシルピシン)	40 mg/m <sup>2</sup>		
			プレドニゾン (プレドニン)	40 mg/m <sup>2</sup>		
			ドキシルピシン (ドキシルピシン)	30 mg/m <sup>2</sup>		
			ラニムスチン (サイメリン)	60 mg/m <sup>2</sup>		
			このプロトコルには、day15より始まるVECPが続く。忘れないこと！！			
129	血液内科	血内LSG15ATL(day15以降)	ヴァンデシン (フィルデシン)	2.4 mg/m <sup>2</sup>	成人T細胞性白血病/リンパ腫	R4.3.2
			エトポシド (エトポシド)	100 mg/m <sup>2</sup>		
			カルボプラチン (カルボプラチン)	250 mg/m <sup>2</sup>		
			プレドニゾン (プレドニン)	40 mg/m <sup>2</sup>		
			このプロトコルは、先行するVCAP-AMPがある。忘れないこと！！			
130	血液内科	血内mCHOP(CAEBV)	Cyclophosphamide (エンドキサン)	750 mg/m <sup>2</sup>	悪性リンパ腫 慢性活動性EBウィルス感染症	R4.3.2
			prarubicin (テラルピシン)	25 mg/m <sup>2</sup>		
			vincristine (オンコピン)	1.5 mg/m <sup>2</sup>		
			Prednisolon (プレドニン)	50 mg/m <sup>2</sup>		
131	血液内科	血内WM R-Bortezomib	Bortezomib (ボルテゾミブ)	13 mg/m <sup>2</sup>	原発性マクログロブリン血症	R4.4.18
			Rituximab (リツキシマブBS注)	375 mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (デカドロン/デキサート)	40 mg		
132	血液内科	血内Pola-R-CHP#1	polatuzumab vedotin (ポライビー)	1.8 mg/kg	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	R4.9.7
			Rituximab (リツキシマブBS)	375 mg/m <sup>2</sup>		
			cyclophosphamide (エンドキサン)	750 mg/m <sup>2</sup>		
			doxorubicin (ドキシルピシン)	50 mg/m <sup>2</sup>		
			prednisolone (プレドニン)	100 mg		
133	血液内科	血内Pola-R-CHP#2-#6	polatuzumab vedotin (ポライビー)	1.8 mg/kg	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	R4.9.7
			Rituximab (リツキシマブBS)	375 mg/m <sup>2</sup>		
			cyclophosphamide (エンドキサン)	750 mg/m <sup>2</sup>		
			doxorubicin (ドキシルピシン)	50 mg/m <sup>2</sup>		
			prednisolone (プレドニン)	100 mg		

## (血液内科)外来化学療法承認レジメ一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
134	血液内科	血内APL地固め (ATRA-ATO)	三酸化二ヒ素【ATO】 (トリセノックス) トレチノイン (ベサノイドカプセル)	0.15 mg/kg 45 mg/m <sup>2</sup>	急性前骨髄球性白血病	R4.11.9
135	血液内科	血内ダルビアス	ダリナパルジン (ダルビアス) ・300mg/m <sup>2</sup> を1時間かけて5日間投与した後16日間休薬。この21日間を1サイクルとして投与を繰り返す。 ・中心静脈からの投与が推奨されるが、末梢静脈からの投与も可能。その歳は、血管外への薬液漏出に注意し慎重に投与。	300 mg/m <sup>2</sup>	再発難治末梢性T細胞リンパ腫	R5.2.8
136	血液内科	血内CLLガザイバカルケンス#1	Obinutuzumab (ガザイバ) Obinutuzumab (ガザイバ) Obinutuzumab (ガザイバ) Acalabrutinib (カルケンス) アカラブルチニブと併用。(1回100mg1日2回 経口投与。ガザイバに先行して投与開始。患者の状況に応じて適宜減量。) 第2コース以降は別のプロトコルになります。最大6コースまで。	100 mg 900 mg 1,000 mg 200 mg	CD20陽性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)	R5.3.3
137	血液内科	血内CLLガザイバカルケンス#2-#6	Obinutuzumab (ガザイバ) Acalabrutinib (カルケンス) アカラブルチニブと併用。(1回100mg1日2回 経口投与。患者の状況に応じて適宜減量。) 第1コース目は別のプロトコルになります。最大6コースまで。	1,000 mg 200 mg	CD20陽性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)	R5.3.3
138	血液内科	血内Ibrutinib-BR #1-#6	イブルチニブ (イムブルピカ) リツキシマブ (リツキシマブBS) ベンダムスチン (ベンダムスチン) ・CYP3A阻害剤 (アゾール系抗真菌薬、クラリスロマイシン等) との併用に注意する。 ・ベンダムスチンの投与をDay 2-3に変更することも可。 ・#6終了後、奏功が得られていればイブルチニブとリツキシマブによる維持療法へ移行する。	560 mg 375 mg/m <sup>2</sup> 90 mg/m <sup>2</sup>	未治療マントル細胞リンパ腫	R5.4.12
139	血液内科	血内Ibrutinib-BR #1-#6	イブルチニブ (イムブルピカ) リツキシマブ (リツキシマブBS) ベンダムスチン (ベンダムスチン) ・CYP3A阻害剤 (アゾール系抗真菌薬、クラリスロマイシン等) との併用に注意する。 ・ベンダムスチンの投与をDay 2-3に変更することも可。 ・#6終了後、奏功が得られていればイブルチニブとリツキシマブによる維持療法へ移行する。	560 mg 375 mg/m <sup>2</sup> 90 mg/m <sup>2</sup>	未治療マントル細胞リンパ腫	R5.4.12
140	血液内科	血内Ibrutinib-BR維持	イブルチニブ (イムブルピカ) リツキシマブ (リツキシマブBS) ・CYP3A阻害剤 (アゾール系抗真菌薬、クラリスロマイシン等) との併用に注意する ・Ibrutinib-BR6コース施行後PR以上の治療効果が得られた場合に投与を行う。 ・維持療法として計12コースまで継続可能	560 mg 375 mg/m <sup>2</sup>	未治療マントル細胞リンパ腫	R5.7.5

## (血液内科) 外来化学療法承認レジメン一覧

更新

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
141	血液内科	血内エプコリタマブ#1	Epcoritamab (エプキンイリ)	0.16 mg	再発難治びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 再発難治性の濾胞性リンパ腫 (Grade 3B)	R7.5.14
			Epcoritamab (エプキンイリ)	0.8 mg		
			Epcoritamab (エプキンイリ)	48 mg		
			28日を1サイクルとする。1サイクル目のみ上記スケジュールで投与。 2&3サイクル目は48mg皮下投与をday1,8,15,22に行い、 4~9サイクル目はday1,15 10サイクル目以降はday1のみ行う。			
142	血液内科	血内エプコリタマブ#2-3	Epcoritamab (エプキンイリ)	48 mg	再発難治びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 再発難治性の濾胞性リンパ腫	R5.12.6
143	血液内科	血内エプコリタマブ#4-9	Epcoritamab (エプキンイリ)	48 mg	再発難治びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 再発難治性の濾胞性リンパ腫	R5.12.6
144	血液内科	血内エプコリタマブ#10	Epcoritamab (エプキンイリ)	48 mg	再発難治びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 再発難治性の濾胞性リンパ腫	R5.12.6
145	血液内科	血内ブリナツモマブBw $\geq$ 45 #1	ブリナツモマブ (ビーリンサイト)	9 $\mu$ g/日	B細胞性急性リンパ性白血病	R5.12.6
			ブリナツモマブ (ビーリンサイト)	28 $\mu$ g/日		
			外泊、外来治療では、患者ごとのスケジュールに応じて、投与時間 (交換サイクル) を変更し投薬を行う。			
146	血液内科	血内ブリナツモマブBw $\geq$ 45 #2-5	ブリナツモマブ (ビーリンサイト)	28 $\mu$ g/日	B細胞性急性リンパ性白血病	R5.12.6
			外泊、外来治療では、患者ごとのスケジュールに応じて、投与時間 (交換サイクル) を変更し投薬を行う。			
147	血液内科	血内ブリナツモマブBw<45 #1	ブリナツモマブ (ビーリンサイト)	5 $\mu$ g/m <sup>2</sup>	B細胞性急性リンパ性白血病	R5.12.6
			ブリナツモマブ (ビーリンサイト)	15 $\mu$ g/m <sup>2</sup>		
			外泊、外来治療では、患者ごとのスケジュールに応じて、投与時間 (交換サイクル) を変更し投薬を行う。			
148	血液内科	血内ブリナツモマブBw<45 #2-5	ブリナツモマブ (ビーリンサイト)	15 $\mu$ g/m <sup>2</sup>	B細胞性急性リンパ性白血病	R5.12.6
			外泊、外来治療では、患者ごとのスケジュールに応じて、投与時間 (交換サイクル) を変更し投薬を行う。			
149	血液内科	血内増量BEACOPP療法	Doxorubicin (ドキシルビシン)	35 mg/m <sup>2</sup>	ホジキンリンパ腫	R5.12.26
			Cyclophosphamide (エンドキサン)	1250 mg/m <sup>2</sup>		
			Etoposide (エトポシド)	200 mg/m <sup>2</sup>		
			Procarbazine (プロカルバジン)	100 mg/m <sup>2</sup>		
			Prednisolone (プレドニン)	400 mg/m <sup>2</sup>		
			Bleomycin (ブレオ)	10 mg/m <sup>2</sup>		
			Vincristine (オンコピン)	1.4 mg/m <sup>2</sup>		
			G-CSF一次予防投与を行う。外来の場合エトポシドのDay2, 3は内服へ変更可能。 ブレオ1回最大投与量 15mg/body, オンコピン1回最大投与量 2mg/body ドキシルビシン、シクロホスファミド、エトポシドは、減量基準に応じて段階的な投与減量を行う。			

## (血液内科) 外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
150	血液内科	血内Besremi	ロペグインターフェロンアルファ-2b (バズレミ)	50-500 µg	真性多血症	R6.4.10
			・1回100µg (他の細胞減少療法薬を投与中の場合は50µg) を開始用量とし、2週に1回皮下投与する。 ・増量は50µgずつ行い、1回500µgを超えないこと。 ・好中球750/mm <sup>3</sup> 未満まで低下した場合は50µg減量する。500/mm <sup>3</sup> 未満まで低下した場合はグレード1以下に回復するまで休薬する。回復後に投与を再開する場合、休薬前の用量から50µg減量する。			
151	血液内科	血内JACOG2201IT	メソトレキセート (メソトレキセート)	15 mg	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	R6.4.10
			シタラピン (キロサイド)	40 mg		
			プレドニゾン (プレドニン)	10 mg		
			JCOG2201登録症例において髄腔内注射。			
152	血液内科	血内JCOG1911維持療法B群	Daratumumab (ダラザレックス点滴静注)	16 mg/kg	多発性骨髄腫	R6.4.10
			Daratumumab (ダラキューロ配合皮下注)	15 ml		
			Bortezomib (ベルケイド)	1.3 mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone (デキサート)	10 mg		
			JCOG1911登録症例において維持療法B群を行う。			
153	血液内科	血内APL寛解導入 (ATRA-ATO)	三酸化二ヒ素【ATO】 (トリセノックス)	0.15 mg/kg	急性前骨髄球性白血病	R6.5.31
			トレチノイン (ベサノイドカプセル)	45 mg/m <sup>2</sup>		
			プレドニゾン (プレドニン)	0.5 mg/kg		
			ヒドロキシカルバミド (ハイドレア)	2000 mg		
			治療途中でWBCが増加した場合、ヒドロキシウレアの併用を行う 10000/µL < WBCまで上昇した場合は、500mg 4カプセル 分2投与を、WBC ≤ 10000/µLに低下するまで継続する。			
154	血液内科	血内エルレフィオ#1 (1-8日目)	エルラナタマブ (エルレフィオ)	12 mg	再発難治性多発性骨髄腫	R6.6.12
			エルラナタマブ (エルレフィオ)	32 mg		
			エルラナタマブ (エルレフィオ)	76 mg		
155	血液内科	血内エルレフィオ#2 (1週間毎)	エルラナタマブ (エルレフィオ)	76 mg	再発難治性多発性骨髄腫	R6.6.12
156	血液内科	血内エルレフィオ#3 (2週間毎)	エルラナタマブ (エルレフィオ)	76 mg	再発難治性多発性骨髄腫	R6.6.12
157	血液内科	血内イェスカクタ前処置	Cyclophosphamide (エンドキサン)	500 mg/m <sup>2</sup>	・再発難治CD19陽性DLBCL (イェスカクタ 使用予定) ・再発難治高悪性度B細胞リンパ腫 (イェスカクタ 使用予定) ・再発難治原発性縦隔大細胞型B細胞リンパ腫 (イェスカクタ 使用予定) ・再発難治形質転換濾胞性リンパ腫 (イェスカクタ 使用予定)	R6.6.12
			Fludarabine (フルダラ)	30 mg/m <sup>2</sup>		
158	血液内科	血内CAD R-Benda	リツキシマブ (リツキシマブBS)	375 mg/m <sup>2</sup>	寒冷凝集素症	R6.11.12
			ベンダムスチン (ベンダムスチン)	90 mg/m <sup>2</sup>		
159	血液内科	血内Mosunetuzumab#1	Mosunetuzumab (ルンスミオ)	1mg	再発難治性の濾胞性リンパ腫	R7.4.9
			Mosunetuzumab (ルンスミオ)	2mg		
			Mosunetuzumab (ルンスミオ)	60mg		
			治療中スケジュール変更は適正使用ガイドに準拠し症例毎に検討する。			

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
160	血液内科	血内Mosunetuzumab#2	Mosunetuzumab (ルンスミオ)	60mg	再発難治性の濾胞性リンパ腫	R7.4.9
			治療中スケジュール変更は適正使用ガイドに準拠し症例毎に検討する。			
161	血液内科	血内Mosunetuzumab#3-17	Mosunetuzumab (ルンスミオ)	30mg	再発難治性の濾胞性リンパ腫	R7.4.9
			治療中スケジュール変更は適正使用ガイドに準拠し症例毎に検討する。 8サイクル終了時に、完全奏効が得られた患者は投与を終了し、また、病勢安定又は部分奏効が得られた患者は、計17サイクルまで投与を継続する。			
162	血液内科	血内IsaVRD#1	Isatuximab (サークリサ)	10mg/kg	多発性骨髄腫	R7.4.9
			Bortezomib (ボルテゾミブ)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	19.8 (20) mg		
			減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン は内服・点滴置換可			
163	血液内科	血内IsaVRD#2-4	Isatuximab (サークリサ)	10mg/kg	多発性骨髄腫	R7.4.9
			Bortezomib (ボルテゾミブ)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	19.8 (20) mg		
			減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン は内服・点滴置換可			
164	血液内科	血内IsaVRD#5~17	Isatuximab (サークリサ)	10mg/kg	多発性骨髄腫	R7.4.9
			Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	19.8 (20) mg		
			減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン は内服・点滴置換可			
165	血液内科	血内IsaVRD#18~	Isatuximab (サークリサ)	10mg/kg	多発性骨髄腫	R7.4.9
			Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	19.8 (20) mg		
			減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン は内服・点滴置換可			
166	血液内科	血内エプコリタマブRRFL#1	Epcoritamab (エプキンリ)	0.16mg	再発・難治性の濾胞性リンパ腫 (Grade 1~3A)	R7.5.14
			Epcoritamab (エプキンリ)	0.8mg		
			Epcoritamab (エプキンリ)	3mg		
			Epcoritamab (エプキンリ)	48mg		
			28日を1サイクルとする。1サイクル目のみ上記スケジュールで投与。 2サイクル目以降は、「血内エプコリタマブ」のレジメンに従い投与する。			

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコル名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
167	血液内科	血内モガCHOP#1	Cyclophosphamide (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>	CCR4陽性のATLL (成人T細胞白血病リンパ腫)	R7.5.20
			Doxorubicin (ドキシソルビシン)	50mg/m <sup>2</sup>		
			Vincristine (オンコピン)	1.4(max2.0mg)mg/m <sup>2</sup>		
			Prednisolone (プレドニン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			mogamulizumab (ポテリジオ)	1mg/kg		
			移植非適応の症例に使用 80歳以上の症例では、CPA、DXR、VCRを80% doseに減量 モガCHOP療法 6サイクル終了後、モガムリズマブ単剤療法を2週毎に2サイクル行う 担当医判断で21日サイクルに延長することも可能			
168	血液内科	血内モガCHOP#2-#6	Cyclophosphamide (エンドキサン)	750mg/m <sup>2</sup>	CCR4陽性のATLL (成人T細胞白血病リンパ腫)	R7.5.20
			Doxorubicin (ドキシソルビシン)	50mg/m <sup>2</sup>		
			Vincristine (オンコピン)	1.4(max2.0mg)mg/m <sup>2</sup>		
			Prednisolone (プレドニン)	40mg/m <sup>2</sup>		
			mogamulizumab (ポテリジオ)	1mg/kg		
			移植非適応の症例に使用 80歳以上の症例では、CPA、DXR、VCRを80% doseに減量 モガCHOP療法 6サイクル終了後、モガムリズマブ単剤療法を2週毎に2サイクル行う 担当医判断で21日サイクルに延長することも可能			
169	血液内科	血内Cooling(CAEBV)	エトポシド(エトポシド)	150mg/m <sup>2</sup>	慢性活動性EBV感染症 悪性リンパ腫	R7.6.11
			シクロスポリン(ネオール)	6mg/kg		
			プレドニゾン(プレドニン)	1mg/kg		
			・プレドニゾンは0.5-2mg/kgで症例に応じて投与量を判断。 ・有効である限り毎週上記治療を継続するが、不応時には別途申請のmodified CHOPへ移行する。 ・他治療継続中にHPSを生じた際には緊急で投与を行う場合があり、その際には他レジメンと併用しパスマップで展開。			
170	血液内科	血内テクリスタマブ継続投与期	Teclisitamab(テクベイリ)	1.5mg/kg	再発難治多発性骨髄腫	R7.6.11
			有害事象による治療延期時の再開方法は適正使用ガイドに準拠する。 ※部分奏効以上の治療効果が24週間以上持続した場合に14日に延長可能。			
171	血液内科	血内D-BLd#1-2MM(移植適応)	Daratumumab (ダラキューロ)	15mL	造血幹細胞移植適応のある未治療多発性骨髄腫	R7.7.9
			Bortezomib (ボルテゾミブ)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	39.6 (40) mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	19.8 (20) mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	9.9 (10) mg		
			初回投与前に不規則抗体検査提出し輸血部へ連絡。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン内服・点滴置換可			

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日		
172	血液内科	血内D-BLd#3-6MM(移植適応)	Daratumumab (ダラキューロ)	15mL	造血幹細胞移植適応のある未治療多発性骨髄腫	R7.7.9		
			Bortezomib (ボルテゾミブ)	1.3mg/m <sup>2</sup>				
			Lenalidomide (レプラミド)	25mg				
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	39.6 (40) mg				
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	9.9 (10) mg				
			初回投与前に不規則抗体検査提出し輸血部へ連絡。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン は内服・点滴置換可					
173	血液内科	血内D-BLd#7-MM(移植適応)	Daratumumab (ダラキューロ)	15mL	造血幹細胞移植適応のある未治療多発性骨髄腫	R7.7.9		
			Lenalidomide (レプラミド)	10mg				
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	9.9 (10) mg				
							減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン は内服・点滴置換可	
174	血液内科	血内D-BLd#1-2MM(移植非適応)	Daratumumab (ダラキューロ)	15mL	造血幹細胞移植の適応とならない未治療多発性骨髄腫	R7.7.9		
			Bortezomib (ボルテゾミブ)	1.3mg/m <sup>2</sup>				
			Lenalidomide (レプラミド)	25mg				
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	19.8 (20) mg				
							初回投与前に不規則抗体検査提出し輸血部へ連絡。 減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン は内服・点滴置換可	

## (血液内科)外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
175	血液内科	血内D-BLd#3-8MM(移植非適応)	Daratumumab (ダラキューロ)	15mL	造血幹細胞移植の適応とならない未治療多発性骨髄腫	R7.7.9
			Bortezomib (ボルテゾミブ)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	19.8 (20) mg		
			減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン内服・点滴置換可			
176	血液内科	血内D-BLd#9-MM(移植非適応)	Daratumumab (ダラキューロ)	15mL	造血幹細胞移植の適応とならない未治療多発性骨髄腫	R7.7.9
			Lenalidomide (レブラミド)	25mg		
			Dexamethasone (デキサート (レナデックス))	39.6 (40) mg		
			減量/中止基準は各薬剤の規定に従う。 Lenalidomide使用中は抗血栓薬の併用が推奨されている。 デキサメタゾン内服・点滴置換可			
177	血液内科	血内Talquetamab 1週毎_A法	トアルクエタマブ (タービー)	0.4mg/kg	再発または難治性の多発性骨髄腫	R7.9.10
			※最低6日空けて投与可			
178	血液内科	血内Talquetamab 2週毎_B法	トアルクエタマブ (タービー)	0.8mg/kg	再発または難治性の多発性骨髄腫	R7.9.10
			※最低12日空けて投与可			
179	血液内科	血内Atezolizumab	アテゾリズマブ(テセントリク)	1200mg	再発又は難治のENKTL・鼻型	R7.10.8
			初回は60分、2回目以降30分で投与 12歳以上の小児の場合は1回15mg/kg (最大1200mg) を投与する。			
180	血液内科	血内Mosune(SC)#1	Mosunetuzumab (ルンスミオ皮下注)	5mg	再発難治性の濾胞性リンパ腫	R8.3.11
			Mosunetuzumab (ルンスミオ皮下注)	45mg		
			治療中スケジュール変更は適正使用ガイドに準拠し症例毎に検討する。 Day1,8の投与後48時間は入院管理			
181	血液内科	血内Mosune(SC)#2-17	Mosunetuzumab (ルンスミオ皮下注)	45mg	再発難治性の濾胞性リンパ腫	R8.3.11
			治療中スケジュール変更は適正使用ガイドに準拠し症例毎に検討する。 #9-17は#8終了時点でSD-PRの症例で実施を検討する。			
182	血液内科	血内TafR2#2,3(Bw≥42kg)	タファシタマブ (ミンジュビ)	12mg/kg	再発難治濾胞性リンパ腫	R8.3.11
			リツキシマブ (リツキシマブBS)	375mg/m <sup>2</sup>		
			レナリドミド (レブラミド)	20mg		
			ミンジュビ・リツキシマブの投与においてはInfusion reactionに注意し投与速度を調整する(全体コメント参照) レブラミド・ミンジュビそれぞれの適正使用ガイドを参照			
183	血液内科	血内TafR2#2,3(Bw<42kg)	タファシタマブ (ミンジュビ)	12mg/kg	再発難治濾胞性リンパ腫	R8.3.11
			リツキシマブ (リツキシマブBS)	375mg/m <sup>2</sup>		
			レナリドミド (レブラミド)	20mg		
			ミンジュビ・リツキシマブの投与においてはInfusion reactionに注意し投与速度を調整する(全体コメント参照) レブラミド・ミンジュビそれぞれの適正使用ガイドを参照			

## (血液内科) 外来化学療法承認レジメン一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
184	血液内科	血内TafR2 #4,5(Bw ≥ 42kg)	タファシタマブ(ミンジュビ)	12mg/kg	再発難治濾胞性リンパ腫	R8.3.11
			リツキシマブ(リツキシマブBS)	375mg/m <sup>2</sup>		
			レナリドミド(レブラミド)	20mg		
			ミンジュビ・リツキシマブの投与においてはInfusion reactionに注意し投与速度を調整する(全体コメント参照) レブラミド・ミンジュビそれぞれの適正使用ガイドを参照			
185	血液内科	血内TafR2 #4,5(Bw < 42kg)	タファシタマブ(ミンジュビ)	12mg/kg	再発難治濾胞性リンパ腫	R8.3.11
			リツキシマブ(リツキシマブBS)	375mg/m <sup>2</sup>		
			レナリドミド(レブラミド)	20mg		
			ミンジュビ・リツキシマブの投与においてはInfusion reactionに注意し投与速度を調整する(全体コメント参照) レブラミド・ミンジュビそれぞれの適正使用ガイドを参照			
186	血液内科	血内TafR2 #6-12(Bw ≥ 42kg)	タファシタマブ(ミンジュビ)	12mg/kg	再発難治濾胞性リンパ腫	R8.3.11
			レナリドミド(レブラミド)	20mg		
			ミンジュビの投与においてはInfusion reactionに注意し投与速度を調整する(全体コメント参照) レブラミド・ミンジュビそれぞれの適正使用ガイドを参照			
187	血液内科	血内TafR2 #6-12(Bw < 42kg)	タファシタマブ(ミンジュビ)	12mg/kg	再発難治濾胞性リンパ腫	R8.3.11
			レナリドミド(レブラミド)	20mg		
			ミンジュビの投与においてはInfusion reactionに注意し投与速度を調整する(全体コメント参照) レブラミド・ミンジュビそれぞれの適正使用ガイドを参照			
188	血液内科	血内BelaBd #1~8	Belantamab mafodotin(ブーレンレップ)	2.5mg/kg	再発難治多発性骨髄腫	R8.3.11
			Bortezomib(ボルテゾミブ)	1.3mg/m <sup>2</sup>		
			Dexamethasone(レナデックス)	20mg		
			ブーレンレップ開始前に必ず眼科診察、4回目投与までは必ず投与前に眼科診察を受ける。			
189	血液内科	血内BelaBd #9以降	Belantamab mafodotin(ブーレンレップ)	2.5mg/kg	再発難治多発性骨髄腫	R8.3.11
			使用方法は適正使用ガイドに準拠する。			
190	血液内科	血内BelaPd #1	Belantamab mafodotin(ブーレンレップ)	2.5mg/kg	再発難治多発性骨髄腫	R8.3.11
			Pomalidomide(ポマリスト)	4mg		
			Dexamethasone(レナデックス)	40mg		
			ブーレンレップ開始前に必ず眼科診察、4回目投与までは必ず投与前に眼科診察を受ける。 ポマリストの投与量については適正使用ガイドを参照する。			
191	血液内科	血内BelaPd #2以降	Belantamab mafodotin(ブーレンレップ)	1.9mg/kg	再発難治多発性骨髄腫	R8.3.11
			Pomalidomide(ポマリスト)	4mg		
			Dexamethasone(レナデックス)	40mg		
			ブーレンレップ開始前に必ず眼科診察、4回目投与までは必ず投与前に眼科診察を受ける。 ポマリストの投与量については適正使用ガイドを参照する。			
192	血液内科	血内Ivo+AZA	アザシチジン(ビダーザ)	75mg/m <sup>2</sup>	IDH1遺伝子変異を持つ 急性骨髄性白血病	R8.3.24
			イボシデニブ(ティブソボ)	500mg		
			*1 高脂肪食摂取前後のイボシデニブの服用は避ける *2 強いCYP3A阻害剤併用時は、1回用量を250mgに減量する *3 QT延長症候群の報告があり、定期的に心電図を確認する			

NEW